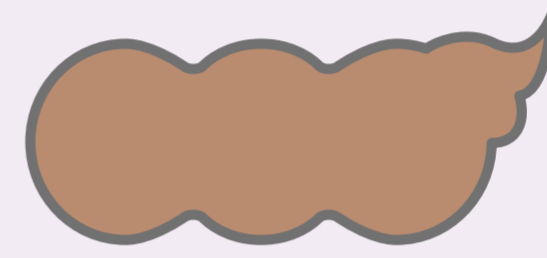


40歳からの 大腸がん検診

大腸がんになる人は、
過去30年間で約**7～8倍**に増加しています！
大腸がんは早期で見つかり、ほぼ**100%完治**します。



早期では症状は全くありません
進行すると下痢と便秘の繰り返し、血便などの症状が現れます。



検診内容

対象

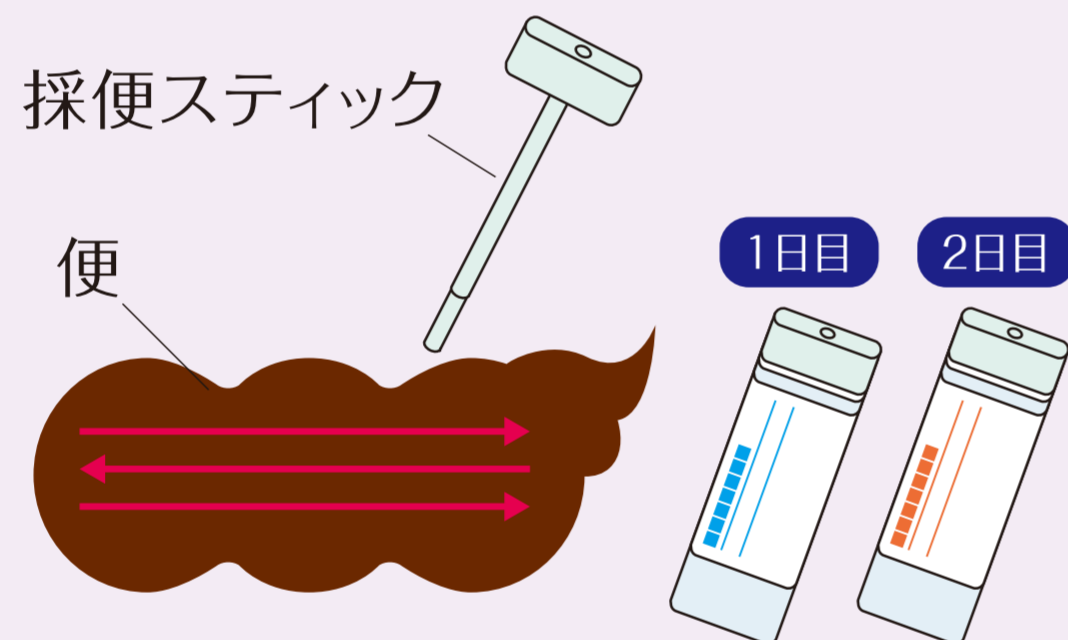
40歳以上

検診間隔

年に1回

検査内容

問診・便潜血検査2日法



2日分の便を採取します。



検査施設にて、自動分析装置にかけ
便中に血液が混じっていないかどうか判定を行います。

市町村のがん検診は国の指針に基づいた検査方法や判定で実施しています。

精密検査

検診で精密検査となった場合には、必ず医療機関で精密検査を受診しましょう。

検査内容 大腸内視鏡検査

医療機関によっては、鎮静薬を使用し、眠っている間に検査を行うことも可能です。



＝ TOPICS ＝ がんになる前の病変もみつける!?がんの発生予防にも

大腸がん検診のメリットは大腸がんの早期発見・早期治療だけでなく、
大腸がんになる可能性のあるポリープの治療も可能です。
精密検査が必要と診断された場合は、必ず大腸内視鏡検査を受けましょう！

